

製品名: BMP-3A ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07595

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP3
別名	BMP3; BMP3A; Bone morphogenetic protein 3; BMP-3; Bone morphogenetic protein 3A; BMP-3A; Osteogenin
遺伝子 ID	651.0
SwissProt ID	P12645
免疫原	抗血清はヒト BMP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

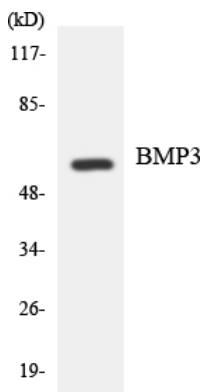
背景

この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーの

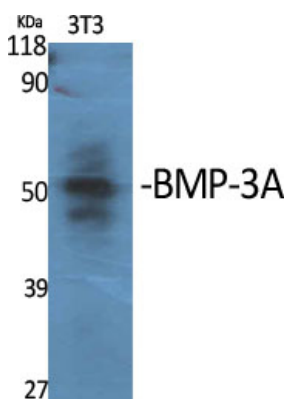
リガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化をもたらします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合ホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は骨芽細胞の分化を抑制し、他のリガンドに対する TGF- β 受容体の利用可能性を調節することで骨密度を負に制御します。[RefSeq 提供、2016年7月]、機能: 骨密度を負に制御します。特定の骨形成 BMP が骨前駆細胞の分化および骨化を誘導する能力に拮抗します。誘導:骨折組織、特に骨芽細胞、破骨細胞、軟骨芽細胞で高発現しています。オンライン情報:骨形成タンパク質 3 エントリ,類似性:TGF- β ファミリーに属します。サブユニット:ホモ二量体;ジスルフィド結合。組織特異性:成人および胎児の軟骨で発現します。、

研究分野

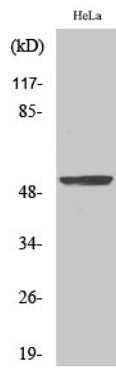
画像データ



BMP3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



BMP-3A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



BMP-3A ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析